

令和6年11月26日

令和6年度 施設見学会を開催
～ 完全自動化を実現した花王(株)豊橋工場内倉庫を見学しました ～

(一社)日本物流団体連合会(略称:物流連)は、11月20日(水)、経営効率化委員会(委員長:外山俊明氏 ANAホールディングス(株)顧問 兼 (株)ANA Cargo 代表取締役会長)における先進技術の活用等に関する検討の一環として、花王(株)豊橋工場様の協力を得て施設見学会を開催し、会員企業・団体等から20名が参加しました。

今回訪問した花王(株)豊橋工場内倉庫は、倉庫での製品入庫から出庫時のトラックへの積み込み作業までの完全自動化を実現した最新鋭の次世代倉庫施設で、本年10月からは日本初となる自動運転フォークリフトによる製品のトラックへの積み込み作業が本格稼働しました。

物流業界では労働力不足が大きな課題となっており、このような先進技術の活用による効率化・省人化は、労働力不足の解消に大きく貢献するもので、今後も先進技術のさらなる普及が期待されています。

冒頭、物流連理事長による挨拶に続いて、花王(株)豊橋工場八木橋様より工場の概要説明が行われ、その後工場内の次世代倉庫に移動し、庫前では、工場内製造棟からパレットに載せられた製品を積んだトラックが倉庫に到着してバースに接車した後、トラック荷台からパレットごと自動的に入庫されていく様子から、製品出庫時の自動運転フォークリフトによる完全無人でのトラック荷台への積み込み作業の様子などを見学しました。一方、庫内では、入庫後保管されるまでの流れや出庫予定のカーターの仕分やパレタイズ作業など全てが無人で自動制御によって行われる様子を見学しました。

最後に本件のプロジェクトメンバーである花王(株)SCM部門ロジスティクスセンター神谷様、徳山様によるリモートでの質疑応答の時間が設けられ、参加者から活発な質疑があった後、本見学会は終了しました。

物流連では、経営効率化委員会において、今後も労働力不足への対応や物流生産性の向上への方策として活用が期待される先進技術等の動向を注視し、情報収集および提供を行っていきます。

以上
事務局 中野

(参考)

花王(株)豊橋工場の自動運転フォークリフトに関する情報は下記 URL をご参照ください。

<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2024/20240830-001/>



施設見学会の風景



リモートによる質疑応答